

「原水爆禁止2019年世界大会」メッセージ

「原水爆禁止2019年世界大会」の開催にあたり、日頃から、核兵器の廃絶と世界平和の実現をめざして活動しておられる皆様方のご努力に、心から敬意を表します。

戦後70年以上が経過し、戦争を体験した方が年々少なくなっています。そのような中、核兵器の恐ろしさや戦争の悲惨さを風化させることのないよう次世代に伝えていくことが、核兵器廃絶をめざす私たちの責務であると言えます。

吹田市では、昭和58年（1983年）8月に「非核平和都市宣言」を行い、今年で36年目を迎えます。この宣言のもと、戦争体験者による語り部、平和に関する映画上映会などを通して戦争の恐ろしさを鮮明に語り継いでいく取組を進めてまいりました。また、府内でも例の少ない平和記念資料館を運営し、市民がいつでも戦争の悲惨さや平和の尊さに触れられるよう努めています。

戦争をなくし、恒久平和を実現することは人類共通の願いです。今後とも核兵器の廃絶と恒久平和の実現に向け、引き続き啓発に取り組み、「非核、平和のまちづくり」を進めてまいります。

結びに、「原水爆禁止2019年世界大会」のご成功と、関係者の皆様のご健勝とご活躍を祈念申し上げまして、メッセージといたします。

令和元年（2019年）8月3日

吹田市長 後藤圭二